

## 1.製品及び会社情報

製品名	Ten.Project Ten.eJuice NO.19 クールメンソール風味 15ml
製品番号	JTE001
JAN/EAN	4573243890517
会社名	STUDUO ADAPT
住所	〒534-0002 大阪府大阪市都島区大東町3-9-8-702
担当部門	通信販売事業部
電話番号	06-6167-5317
メールアドレス	info@ten-project.com
製品ホームページ	http://ten-project.com



## 2.危険有害性の要約

**最重要危険有害性** 通常の手扱いは、とくに危険性はない。

物理化学的危険性	GHS分類区分外
環境に対する有害性	GHS分類区分外
健康に対する有害性	GHS分類区分外

**特定の危険有害性** 特になし

## 3.組成、成分情報

<原則として1%以上含有する成分を記載しています>

化学物質・混合物の区分 混合物

成分名称	含有量(wt%)	CAS No.	MITI No.
植物性グリセリン	48-50	56-81-5	2-242
プロピレングリコール	48-50	57-55-6	2-234

分子式(CAS No.) C<sub>3</sub>H<sub>8</sub>O<sub>3</sub>(56-81-5),C<sub>3</sub>H<sub>8</sub>O<sub>2</sub>(57-55-6)  
・消防法 危険物 第4類引火性液体 第三石油類 水溶性

## 4.応急措置

### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。

### 皮膚に付着した場合

皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗う。  
皮膚刺激、発疹が生じた時、気分が悪い時は医師の手当てを受ける。

### 飲み込んだ場合

水で口の中をよく洗ったのち、気持ちが悪いようであれば医師の手当てを受ける。

## 大量に吸入した場合

直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移し、安静につとめる。その後、医師の手当てを受ける。

---

## 5.火災時の措置

### 消火剤

粉末、二酸化炭素、泡消火剤、水噴霧など。  
大火災の場合、空気を遮断できる泡消火剤が有効である。

### 使ってはならない消火剤

通常の状況下では、不適切な消火剤はない。

### 特有の消火方法

火元への燃焼源を遮断する。  
火災周辺の設備、可燃物に散水し、火災延焼を防ぐ。  
危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。  
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

### 消火を行う者の保護

消火作業は風上から行い、消火を行う人は適切な保護具を着用する。

---

## 6.漏出時の措置

漏出した液は、ウエス、雑巾で出来るだけ回収し、こぼした所を完全に拭きとる。

---

## 7.取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

強力な酸化剤との接触禁止。  
炎、火花または高温体との接触を避ける。  
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。

### 保管

直射日光や高温を避ける。  
容器を密閉して冷暗所に保管する。

---

## 8.暴露防止及び保護措置

### 管理濃度

設定されていない。

### 設備対策

状況に応じ局所排気装置を設置する。

---

## 9.物理的及び化学的性質

### 物理的状態、形状、色など

無色澄明の粘性のある液体。

### 火薬類

爆発性に関する原子団を含まない。GHS分類は「分類対象外」である。

### 自然発火性液体

含有される液体成分は常温の空気と接触しても自然発火しない。GHS分類は「区分外」である。

## 10.安定性及び反応性

### 安定性

通常の取扱条件において安定である。

### 危険有害反応可能性

強酸化剤と混触すると激しく反応することがある。

### 避けるべき条件

日光、湿気、裸火、静電気、スパーク

---

## 11.有害性情報

急性毒性	区分外
感作性	区分外
慢性毒性	区分外
長期毒性	区分外

---

## 12.環境影響情報

残留性、分解性	該当なし
生態蓄積性	該当なし
生態毒性 魚毒性	該当なし

---

## 13.廃棄上の注意

地方自治体の基準に従うこと。

---

## 14.輸送上の注意

消防法、道路法の規定に従う。  
容器からの漏れ等の防止を確実にし、直射日光を避け輸送することが望ましい。

---

## 15.適用法令

労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	危険物第4類引火性液体、第三石油類、水溶性液体 指定数量4000L、危険等級Ⅲ
船舶安全法	非該当
航空法	非該当

---

## 16.その他の情報

注意事項は当製品についての通常取り扱いを対象にしたものであって、それ以外については、ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取り扱い願います。

引用文献: 化学物質等安全データシート(MSDS) - 内容及び項目の順序 (JIS Z 7253:2012)

## 1. 製品及び会社情報

製品名	Ten.Project Ten.eJuice NO.61 エクストラメンソール風味 15ml
製品番号	JTE013
JAN/EAN	4573243890630
会社名	STUDUO ADAPT
住所	〒534-0002 大阪府大阪市都島区大東町3-9-8-702
担当部門	通信販売事業部
電話番号	06-6167-5317
メールアドレス	info@ten-project.com
製品ホームページ	http://ten-project.com



## 2. 危険有害性の要約

**最重要危険有害性** 通常の手扱いは、とくに危険性はない。

物理化学的危険性	GHS分類区分外
環境に対する有害性	GHS分類区分外
健康に対する有害性	GHS分類区分外

**特定の危険有害性** 特になし

## 3. 組成、成分情報

<原則として1%以上含有する成分を記載しています>

化学物質・混合物の区分 混合物

成分名称	含有量(wt%)	CAS No.	MITI No.
植物性グリセリン	48-50	56-81-5	2-242
プロピレングリコール	48-50	57-55-6	2-234

分子式(CAS No.) C<sub>3</sub>H<sub>8</sub>O<sub>3</sub>(56-81-5), C<sub>3</sub>H<sub>8</sub>O<sub>2</sub>(57-55-6)  
・消防法 危険物 第4類引火性液体 第三石油類 水溶性

## 4. 応急措置

### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。

### 皮膚に付着した場合

皮膚を速やかに多量の水と石鹸で洗う。  
皮膚刺激、発疹が生じた時、気分が悪い時は医師の手当てを受ける。

### 飲み込んだ場合

水で口の中をよく洗ったのち、気持ちが悪く感じれば医師の手当てを受ける。

## 大量に吸入した場合

直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移し、安静につとめる。その後、医師の手当てを受ける。

---

## 5.火災時の措置

### 消火剤

粉末、二酸化炭素、泡消火剤、水噴霧など。  
大火災の場合、空気を遮断できる泡消火剤が有効である。

### 使ってはならない消火剤

通常の状況下では、不適切な消火剤はない。

### 特有の消火方法

火元への燃焼源を遮断する。  
火災周辺の設備、可燃物に散水し、火災延焼を防ぐ。  
危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。  
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

### 消火を行う者の保護

消火作業は風上から行い、消火を行う人は適切な保護具を着用する。

---

## 6.漏出時の措置

漏出した液は、ウエス、雑巾で出来るだけ回収し、こぼした所を完全に拭きとる。

---

## 7.取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

強力な酸化剤との接触禁止。  
炎、火花または高温体との接触を避ける。  
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。

### 保管

直射日光や高温を避ける。  
容器を密閉して冷暗所に保管する。

---

## 8.暴露防止及び保護措置

### 管理濃度

設定されていない。

### 設備対策

状況に応じ局所排気装置を設置する。

---

## 9.物理的及び化学的性質

### 物理的状態、形状、色など

無色澄明の粘性のある液体。

### 火薬類

爆発性に関する原子団を含まない。GHS分類は「分類対象外」である。

### 自然発火性液体

含有される液体成分は常温の空気と接触しても自然発火しない。GHS分類は「区分外」である。

## 10.安定性及び反応性

### 安定性

通常の取扱条件において安定である。

### 危険有害反応可能性

強酸化剤と混触すると激しく反応することがある。

### 避けるべき条件

日光、湿気、裸火、静電気、スパーク

---

## 11.有害性情報

急性毒性	区分外
感作性	区分外
慢性毒性	区分外
長期毒性	区分外

---

## 12.環境影響情報

残留性、分解性	該当なし
生態蓄積性	該当なし
生態毒性 魚毒性	該当なし

---

## 13.廃棄上の注意

地方自治体の基準に従うこと。

---

## 14.輸送上の注意

消防法、道路法の規定に従う。  
容器からの漏れ等の防止を確実にいき、直射日光を避け輸送することが望ましい。

---

## 15.適用法令

労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	危険物第4類引火性液体、第三石油類、水溶性液体 指定数量4000L、危険等級Ⅲ
船舶安全法	非該当
航空法	非該当

---

## 16.その他の情報

注意事項は当製品についての通常取り扱いを対象にしたものであって、それ以外については、ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取り扱い願います。

引用文献: 化学物質等安全データシート(MSDS) - 内容及び項目の順序 (JIS Z 7253:2012)